令和８年１１月１１日
みどり３３推進担当部
公園整備利活用推進課

世田谷区立玉川野毛町公園プールの改築について

１　主旨

玉川野毛町公園については、区民や民間事業者との対話により取りまとめた「玉川野毛町公園拡張事業の基本設計書（令和５年２月策定）」及び「玉川野毛町公園既開園区域の基本計画書（令和７年１１月策定）」に基づき、順次工事を進めている。

公園区域内の屋外プールは、築５３年が経過し、プール槽や機械・給排水設備等の老朽化が進んでおり、施設の維持管理に係る修繕等も喫緊の課題であることから、安全かつ安定的な施設運営を継続するため、屋外プールを改築する必要がある。

この度、屋外プール改築の基本的な考え方や施設概要について取りまとめたので、その内容について報告する。



施設配置図

2　施設の概要及び位置づけ

（1）利用状況（令和８年度）

・営業期間：７月１日～９月１０日

・利用者数：９,３４８人

（参考）令和７年度：１２,２１２人、令和６年度：１０，３９６人

※内訳は、幼児及び付添者が約４割、小・中学生が約４割を占めており、子どもや子育て世帯の利用が中心となっている。

・最大利用者数：１８４人／回（２時間）

（参考）令和７年度：２５９人、令和６年度：３３７人

（2）施設の位置づけ

・玉川野毛町公園プールは、「世田谷区スポーツ推進計画」において地域スポーツ施設として位置付けられており、地域特性や利用者ニーズを踏まえたスポーツ・レクリエーション機能を担う施設である。

・区内の屋外プールは、大蔵第二運動公園、玉川野毛町公園、世田谷公園の３施設のみであり、浮き輪やビーチボールの利用が可能な、区民の貴重な水辺レクリエーションの場となっている。

・玉川野毛町公園は、拡張事業や民間活力を活用した施設整備により多様な機能を備えた地区を代表する公園として整備を進めており、プールは子ども・子育て世帯の利用促進及び公園全体の魅力向上に寄与する施設である。

3　利用者の評価とニーズ等の把握

（1）プール利用者へのアンケート

利用料が安いこと、家から近いこと、屋外プールであること、浮き輪やビーチボールで遊べることなどが評価された。

（課題・改善要望）

更衣室やトイレ等の施設改善に加え、子どもや子育て世帯向けの機能充実など、利用環境の向上が求められた。

内　容	件　数
更衣室・トイレの衛生環境の改善	２５
更衣室・トイレの拡張	２２
プールサイドにおける暑熱対策の充実	１６
プール機能の充実（広さ・深さ）	１５
水遊び遊具の設置	１３
運営ルールの見直し	5
その他意見（4 件以下）	３５

（2）子育て団体へのヒアリング

身近な施設であり、料金設定や浮き輪やビーチボールで遊べるなどの遊びの自由度が高いなどから利用者の満足度は高く、地域交流や子どもの成長につながる場となっているとの評価がされた。

（課題・改善要望）

・シンプルで自由度の高いプール
・利用者層に応じた深さの設定
・日陰スペースの増設

4　改築の概要

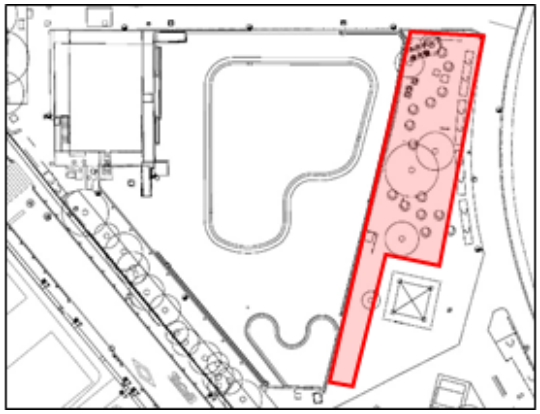
（１）基本的な考え方

①管理棟

更衣室については、狭隘化の解消を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮し、子育て世代や多様な利用者ニーズに対応した更衣環境を整備することで、誰もが快適かつ安心して利用できる施設とする。また、管理棟にはプール利用者に加え、隣接するテニスコートや多目的広場の利用者も利用できるトイレを併設し、公園施設全体の利便性向上と効率的な運営を図る。

②プール

現在のプールは、幼児用プール槽が手狭であることや日陰空間が十分に確保されていないことが課題となっている。このため、隣接する未利用地を活用してプール区域を拡張するとともに、幼児用プールの拡充、水遊び機能の導入、暑熱対策の強化を図る。これにより、子どもや子育て世帯にとって快適で利用しやすい施設環境を整備し、更なる利用促進につなげていく。



拡張エリアとして整備する区域



暑熱対策例（日除け）



暑熱対策例（ミスト）







水遊び遊具の例

③その他

・利用機会の拡充を図るため、営業期間の前倒しや延長を検討する。
・近隣住民に加え、全区的に利用促進につながる効果的な周知方法を検討する。

（２）敷地・施設概要

①敷地概要

所　在　地	世田谷区野毛一丁目２５番１番
敷 地 面 積	既開園区域全体 38,212 ㎡（プール 1,430 ㎡）
都市計画等	第一種中高層住居専用地域／ 容積率：150%／ 建ぺい率：50%／ 16ｍ第2種高度地区／ 準防火地域／ 第2種風致地区

②施設概要

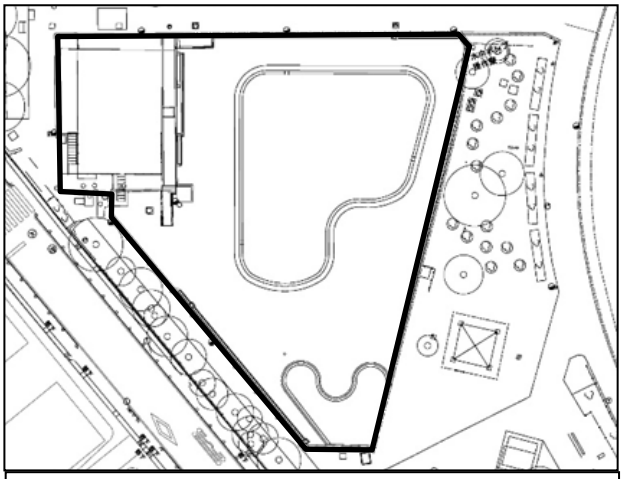
施設	既存	整備後（想定）
管理棟	鉄骨造 地上２階建　築５３年 延床面積 230 ㎡	鉄骨造 地上２階建 延床面積 260 ㎡
プール	一般用プール 400 ㎡ 幼児用プール 70 ㎡ プールサイド 790 ㎡	一般用プール 400 ㎡ 幼児用プール 250 ㎡ プールサイド 1150 ㎡

③主な諸室

施設	主な諸室
管理棟	事務室兼医務室、更衣室、機械室、ホール、トイレ、公園利用者用トイレ、スタッフ用休憩所、監視室

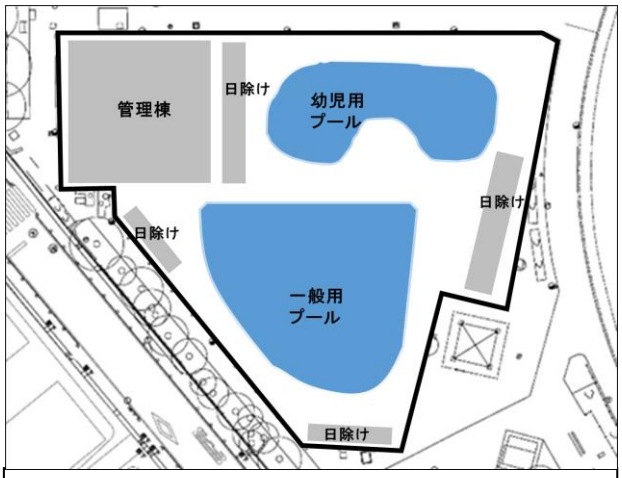
（３）整備イメージ

ア）施設の現状



敷地面積　1,430 ㎡
■管理棟：　170 ㎡（延べ床面積 230 ㎡）
■プール：1,260 ㎡

イ）施設の整備イメージ



敷地面積　2,030 ㎡
■管理棟：　230 ㎡（延べ床面積 260 ㎡）
■プール：1,800 ㎡

5　概算経費

（1）概算事業費

約 6.51 億円	・管理棟：2.70 億円（設計費、解体費含む） ・プール：3.81 億円（設計費、解体費含まない）

（2）施設維持管理費

2,770 万円/年	・管理棟：90 万円/年（光熱費） ・プール：2,680 万円/年（光熱費、運営費）

6　今後のスケジュール（予定）

令和９～１０年度　基本設計・実施設計
令和１０年度　　解体工事
令和１１年度　　新築工事（プール営業休止）
令和１２年度　　プール営業再開